

大分県公立高校入試徹底分析【国語】

【形式・難易度】

試験時間	50分	配点	60点
問題構成	大問5題構成【漢字語句と会話文・小説・論説・古典・作文】 【一】は漢字語句と会話文10点。【二】は小説文15点。【三】は論説文15点。 【四】は古典10点。【五】は作文10点の計60点。		

	令和6年度(2024)	令和5年度(2023)	令和4年度(2022)	令和3年度(2021)	令和2年度(2020)
問題量 (A4で)	10ページ分	10ページ分	10ページ分	10ページ分	10ページ分
小問数	29問	30問	28問	29問	29問
論述問題の数	6問	5問	5問	5問	7問
論述問題配点	20点	18点	19点	17点	23点
受験者平均点	27.5点	33.3点	33.4点	29.8点	29.1点

【出題の傾向と対策】

①【一】正答率の低かった漢字の「書き取り」と「読み方」(5年分)

【書き取り】

★書き取りは、主に小学校範囲から出題。特に同訓・同音の漢字を書き分けられるようにしておくこと。

R2：帰省を一週間先にノぼす。 R3：昨年度の優勝校の主将が選手センセイをする。

R4：集団生活ではキリツを守ることを求められる。 R5：友人と一緒に神社ブツカクめぐりをした。

R6：ライバル校をシリゾけて、県大会優勝を果たした。

【読み方】

R2：資料を無料で頒布する。作業が滞ることなく進んだ。 R3：町もすっかり廢れてしまった。

R4：仲間の心を掌握できるリーダーになりたい。 R5：昨年度のよい点を踏襲して計画します。

R6：公務員を罷免することは、国民固有の権利である。

②書写に関する出題

★行書体の知識。筆順の変化(「くさかんむり」「みみへん」など)、点画の省略(「きへん」「ころもへん」「いとへん」など)、点画の連続(「さんずい」など)には注意が必要。

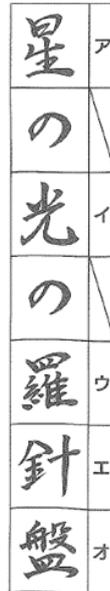
R3【一】

ア「温」には点画の連続が見られる。
イ「故」には点画の省略が見られる。
ウ「知」には点画の連続が見られる。
エ「新」には点画の省略が見られる。



(3) R4【一】

「ことば手帳」の表紙には、各自が好きな言葉を書くことになっている。吉田さんは次のように行書で書いた。同じ文字を楷書で書いた場合と比較すると、どのような特徴が見られるか。当てはまらないものを、後のア〜エのうちから一つ選び、その記号を書きなさい。



(3) R5【一】

全校合唱を行うことが決まったため、大山さんはステージに掲示する曲名を次のように行書で書いた。曲名にある文字のうち、行書の特徴である筆順の変化が見られる漢字を、次のア〜エのうちから一つ選び、その記号を書きなさい。

ア 点画の省略 イ 筆順の変化 ウ 点画の連続 エ 点画の変化



(4) 次の文字は「講師へのお礼の手紙」の……線を行書で書いたものである。同じ文字を楷書で書いた場合と比較すると、どのような特徴が見られるか。当てはまらないものを、後のア〜エのうちから一つ選び、その記号を書きなさい。

